

あいほら くみこ 民主党参議院比例区第6総支部長からのメッセージ

仲間がいるから、がんばれる
仲間のために、がんばりたい
人と人が支えあう社会を、
つくろうと思う。

力をあわせて、暮らしを守っていこう。

参議院議員 **あいほら くみこ**

(民主党参議院比例区第6総支部長)



国政の場で質問に立つ **あいほら くみこ** 参議院議員

あいほら くみこは、民主党とともに諸政策の実現をはかっています。

東日本大震災からの 復旧・復興、自然災害に備える

雇用創出基金事業による
4.7万人の雇用創出
自治体とNPOによる
コミュニティ形成支援
被災者、被災地労働者の
メンタルヘルス対策
減災に向けたまちづくりの取り組み強化



災害からの復旧・復興、地域の再生には財源はもとよりヒューマンパワーの充足が急務です。すべての被災者が生活再建を果たしてはじめて、日本再生が実現します。

差別のない 平和な社会をめざして

当事者参画による障害者政策委員会の設置
外国人労働者の視点に立った政策
自殺者が15年ぶりに3万人を下回る

年齢や性別、障害の有無をこえて、誰もがその人らしく、当たり前で暮らせる社会。そんな社会をみなさんと一緒に創っていきたい。平和問題では沖縄の基地負担軽減が最優先課題です。オスプレイ、国防軍配備に疑義を呈していきます。



社会全体で子どもを 育てていきたい

4年ぶりに待機児童が減少
新児童手当(月1万円)を中学3年まで拡充
高校授業料無償化による中退者の半減
放課後児童クラブの機能強化

すべての子どもに良質な保育・教育環境を保障するとともに、子育てをする家庭を応援する多様な仕組みが必要です。「チルドレン・ファースト」を掲げ、安心して子どもを産み、育てられる社会を創ります。



原発に依存しない 社会の実現を

2030年代に原発稼働ゼロへ
固定価格買取制度による
再生可能エネルギー導入促進
グリーン成長戦略の研究開発

福島第一原発事故から、この国のエネルギー政策の在り方を学び直さなければなりません。「福島」を経験した日本だからこそ、「脱原発」を世界に発信するべく、取り組みを前進させます。



安心できる 社会保障の再構築

消えた年金1300万人(1.6兆円)の復活
医療予算を年5500億円増
在宅医療・介護の連携の推進
介護職員・障害者福祉職員の
賃金月1.5万円UP

誰もが必要とする社会保障は自助のみでなく共助・公助の仕組みが必須です。社会保障制度改革国民会議を開かれた議論の場とし、信頼できる社会保障の充実に取り組んでいきます。



非正規労働者の 処遇改善のために

労働者派遣法の改正による
日雇派遣規制強化
労働契約法改正により
不合理な労働条件の禁止
非正規労働者221万人に
雇用保険の適用拡大

「官製ワーキングプア」問題解決にはこだわり続けます。働く者の3割を占める非正規労働者の処遇改善を図ることは、労働者全体の雇用の質の向上につながります。均等待遇、賃金格差は正に取り組みます。



質の高い公共サービスを 確立するために

分権・自治推進のため
国と地方の協議の場を法定化
一括交付金の創設
(2012年度予算額8,329億円)
地方交付税の増額

住民に身近な自治体で、住民のニーズに応じた柔軟な公共サービスを提供可能とするため、地方が自由に使える自主財源を確保し、「地域のことは地域で考え決められる」地域主権を確立します。



詳しくは
こちら

「あいほら くみこ」の決意

諸政策の実現に向け、 みなさんと一緒に、 政治を前へ進めていきます。

メルマガもスタート!



あいくみ情報発信中!

あいほら くみこ 検索

<http://aikumi.info>



あいほら くみこ(民主党参議院比例区第6総支部長)の決意をお伝えします。

2012年の衆議院議員選挙は大変厳しい結果となりました。民主党として、反省すべきことは多々あります。民主党の再生にむけて、この間の取り組みをしっかりと総括し、みなさんからいただく課題に、一つひとつ取り組みながら頑張っていく所存です。

民主党政権時代に、政策の方向性は、弱い立場に置かれた方たちの視点に立ち、格差を縮小する方向に変わってきていたと思います。しかし、今回の政権交代で、外交政策の右傾化や、思想信条の自由や表現の自由を否定するポピュリストの台頭などにより、日本は極めて危険な状況になったと思っています。ここで、

平和を危うくし、格差を拡大する政治に戻すわけにはいきません。そのためにも、来る参議院議員選挙に向けて、この議席を絶対に明け渡すわけにはいかないと決意を新たにしています。

一步一歩、着実に結果を出すよう全力で頑張ります。



